

看護のプロフェッショナリズムを共有するワークショップ NEWS LETTER

第7回 ワークショップの開催報告

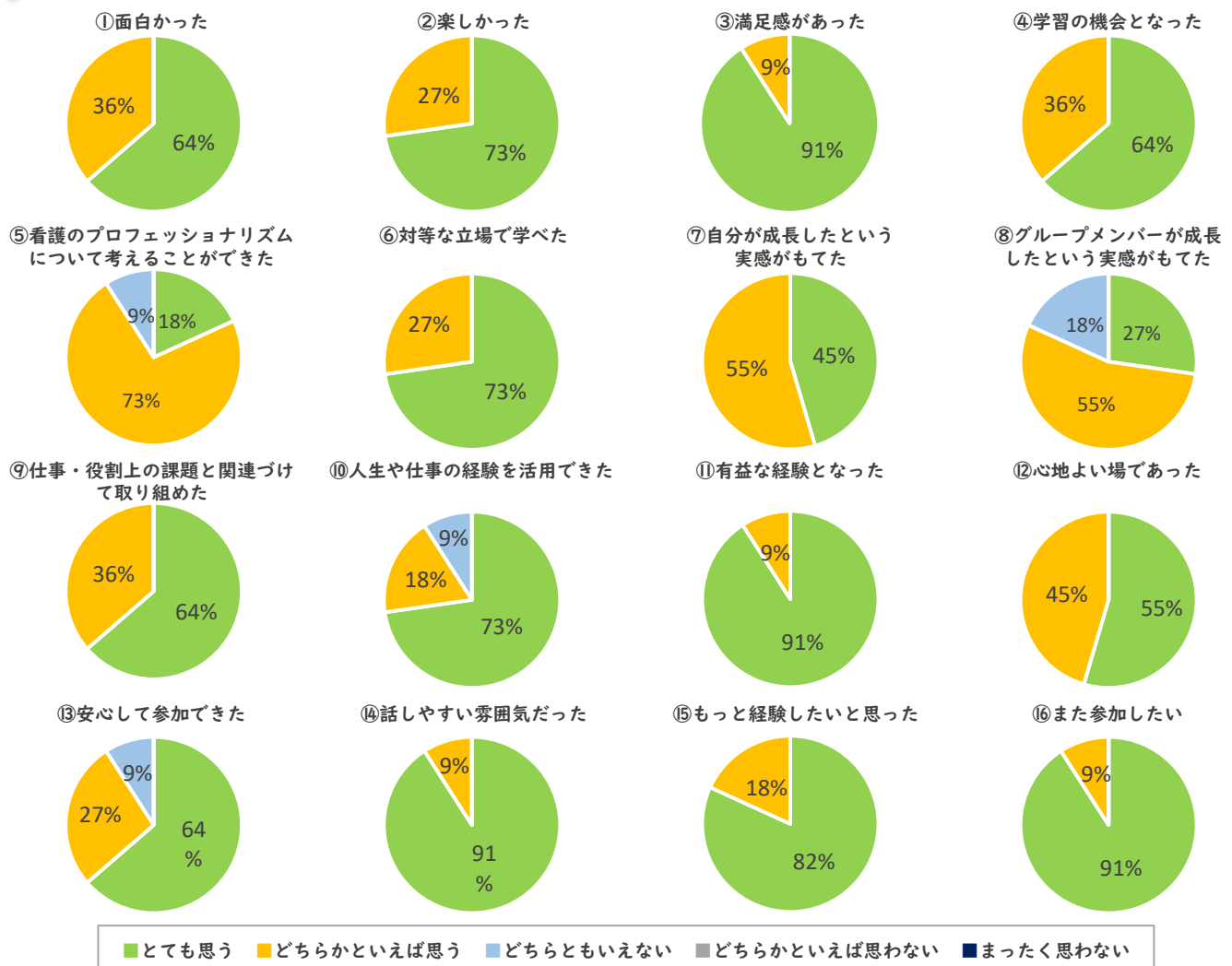
今回は、継続テーマ『立場を同じくして対等に学ぶ』のもと、「心理的安全性」が保証された環境下で「能動的な学習」を実践することに取り組みました。難しく考えるよりも、参加者全員で意図的にその状況をつくりだし、その場に身を置いてみることで、何か感じたり、気づいたり、できるのではないかと、という発想です。その結果、全体の9割の方が「満足感があった」「有益な経験となった」「また参加したい」と評価していただきました。ありがとうございました！

主催者代表 佐藤 政枝

開催日時：2021年12月22日（水）18-20時

参加者：16名（看護職、看護大学生、大学教員、大学院生）

●ワークショップ後のアンケート結果（一部抜粋） 回答11名



自由記載で頂いた感想やご意見

- ✓ 前回よりも相手の話に集中できている自分に気づき「自ら実践する」「場づくりに貢献する」という意識を持つことの重要性を実感した
- ✓ テーマは明確でも、学び方に決まりはなく、自らが能動的に吸収しようとする姿勢が必要になったと思った
- ✓ 同じテーマで話しても、参加するたびに新しい学びに出会えるこの体験はとても面白い
- ✓ 少しだけでいいから歩み寄ってみる、学ぶことが楽しいと思える、そんな環境づくりが大事だと気づいた
- ✓ 自分が何を大切に働きたいのか考えられるようになったり、自分を大切にしたいと思えるようになった
- ✓ テーマから脱線しても、参加者に共通認識があるので、どんな時でも心理的安全性を大切にできた